

年末には、将来の人生設計を考えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。佐野元春さんのコンサートに行ってきました。名前は聞いたことがありましたが、どのような歌を歌うのかも知らないで行きました。会場に入って驚きましたね。幕が開く前だというのに、音楽が鳴り出すと皆さん総立ちになっていたからです。たまたま私の席は前の方のよい席で、そこに一人で座っていましたが、一緒に行った人たちに「林君はどうかしているんじゃないか」「どうして座っているのか」などと言われてしまいました。皆さん、佐野元春さんの歌をよく知っていて、大きな声と一緒に歌ったり踊ったりしていました。要するに、佐野元春さんと一緒に音楽を楽しむ会だったわけですね。私は、それを知らずにただ音楽を聴きに行ってしまったわけです。

居たたまれなくなった私は、後ろの方の空いている席に移動し、四十肩なのか、たまたま肩が痛かったので、1時間くらい肩を動かしていたところうまく治ってしまいました。佐野元春さんのロックコンサートのお陰で肩の痛みがとれたという貴重な体験をさせていただき、またコンサートも楽しむことができ本当に楽しく過ごさせていただきました。また、あのように元気な方々が栃木県にはたくさんいらっしゃるのを見て、力強く思いました。皆さん本当に元気ですね。2時間のコンサートの前半と後半中ずっと踊り続けていらっしゃいました。私にとっては8年ぶりのコンサートでしたが、機会があればまた行ってみたいと思います。時には楽しいこともしないと味気ない生活になってしまいますから、皆さんも栃木県の各市町村にたくさんある市民会館や文化会館などで開かれる素晴らしいコンサートなどを探して、1か月に1度ないし2か月に1度くらいは、文化的活動に参加してみたいと思います。

ところで、今日は12月25日ですので、今年も残り1週間しかありません。私が先日からお話しているのは、来年のこと、つまり来年はどんなことをやればよいのかについては、今年のうちにだいたい考えておくということです。できれば、今のうちにノートを1冊用意していただいて、来年こそはこんなことをやりたいということをそのノートに記し、1月1日からは少しでも多くそのことを実行するようにお勧めいたします。

そこで、ノートの使い方を少し紹介します。私の使っているノートは、ビジネスダイアリーという能率ダイアリーです。これは、日本能率協会マネジメントセンターつまり能率協会の手帳で、10年くらい使用していますが、非常に使い勝手のよいものです。

私は、この手帳を銀座の伊藤屋さんで9月に買い、その日からもう3か月も来年はどうしようかと考えましたので、何をやるかおおよそ決めました。ですから、手帳はなるべく早く買う、これがコツです。そして、そこに来年はどんなことをしたいかということを書き記していくことです。私は既に、どんなことをしたいかということを書き綴っています。それを見ながら来年のことを考えて、31日までにはあと10ページくらい書き記しておこうと思っています。是非皆さんも、今週をこのようなことをするために使っていただきたいと思います。1月1日に、1日からのことを考えて

もなかなか上手くいきません。あと6日間ありますので、1月1日からの過ごし方について今から一所懸命考えてノートに記入しておく。特に学生の場合は、受験や進学に際して、どのような学校に進みたいか・どのような学年にしたいかなどいろいろあると思いますので、じっくりお考え下さい。この放送を聴いて下さっている社会人の方も多いと思いますが、社会人の方は5年おきくらいに、これからどうするか、あと5年間をどうするかをお考えになるとよいと思います。

女性の方は、25歳になったら、30歳になったら、35歳になったらどうしようと、5の倍数で人生を考えると素晴らしい習慣をつけている方が多いと思うのですが、男性の方はそれが全然ありません。ただ何となく過ごしてしまっ、「あー」と言っている間に一生が終わってしまうということになりがちです。男性の方は5年ごとというように細かくしなくてよいと思いますが、せめて10年ごとに、つまり40歳、50歳、60歳、70歳、80歳、90歳、100歳になったらどうしようかと考えて、できれば3～5年かけて次の10年間のための準備をなさんと、素晴らしい人生を過ごせるのではないかと思います。

昨今は非常に景気が悪くて、リストラなどが進んでいますし、いつ会社がおかしくなるかも分かりません。また、国家や地方の経済や財政も破たんしているわけですから、公務員の方もいつ失業ということになるか分かりません。特に、公務員ではないが第3セクターで公共の仕事をなさっている方の場合は、それらがどんどん民営化されていますし、また大学なども独立行政法人になり大変な思いをしている方も多いと思います。これから先も、このような形で民間並の経営をする所が多くなると思いますので、いつ何時リストラの対象になってしまうか分かりません。それに対処するためにも、雇用に値する仕事能力をどのようにつけるか、何を以て自分の人生を生きたいのか、どのような仕事がしたいのか、どのような生き方がしたいのか等々を自分自身で一所懸命考える。女性の方は5年おきに人生を考えているわけですから、男性の方もせめて10年おきにこれからの10年間をどのようなことをしながら過ごすのかを考えて、その準備をなさんとよいと思います。

このような仕事をしたいと思ってもすぐにはできませんので、5年間かけて準備をする。趣味を持ちたい、例えば尺八を上手に吹けるようになりたいと思ったら、尺八の勉強を5年間はした方がよいと思います。書道が上手になりたいと思ったら、書道の勉強を5年間、テニスが上手になりたいと思ったら、やはりテニスの練習を5年間、囲碁が上手になりたいと思ったら、囲碁の勉強を5年間、将棋も同じです。このように、趣味でも生き方でも社会的な活動でも、準備に5年間くらい費やして、次の10年間を過ごす。このような過ごし方をすれば、素晴らしい人生を送ることができると思います。

年の終わりにあたって、来年1年間をどのように過ごすかお考えになっていただき、あとは大きな視点で見て、5の倍数、10の倍数の時にそれからの10年間をどのように過ごすかも考えていくような年の暮れにしていきたいと思います。

今年1年間、「開倫塾の時間」をお聴きいただき本当にありがとうございました。最後に一言。お疲れになっている方も多いと思いますので、栃木県の温泉地へ行き、たとえ日帰りでも体を休めていただけたらと思います。それが栃木県の温泉地や観光地の再生にも繋がりますので、お願い致します。